

平成24年度 学校教育目標設定報告書

学校番号 33

学校名 千葉県立船橋法典高等学校

課程名 全日制の課程

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組, 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学校 経 営	1 HP等を活用した外部への情報発信を強化し、家庭・地域に信頼される学校づくりを実践する。	①行事等を中心に学校の活動を発信する。 週1回の更新を目指す。 ②災害時の情報発信を強化するために、HPの機能を変更する。 ③学校案内を刷新し、中学校訪問時に配付。 学校説明会, 学校紹介ビデオの内容の充実。	①HPの記載内容と更新状況。 ②訓練時の試行状況。 ③学校説明会の際に来校した中学生、保護者に対するアンケートの結果。
	2 自己啓発指導重点校としての取組みを発展させ、生徒の落ち着いた学校生活を積極的に支援する。	④授業, 朝自習を通して学ぶ「楽しさ」「目的」を実感させる。 ⑤学年室体制をさらに整理し、家庭との連携を密にして出席率の改善を図る。 ⑥基本的生活習慣の確立のため、生徒指導部を中心に、一斉指導, 各種カード指導を継続して行う。	④学校評価における「授業がわかった」の項目について満足度85%以上。 ⑤出席率98%以上。 学校評価アンケートの結果。 家庭等の連携状況。 ⑥各学年, 生徒指導部からの状況報告。
	3 PTA活動を活性化し、学校との協同により、生徒の健全育成を図る。	⑦本校PTAを構成する広報, 通学安全, 企画の3委員会が積極的に活動できる環境を整備する。 ⑧PTA総会及び理事会が充実したものになるよう, 日程・内容等を工夫する。 総会当日に, 進路講演会を企画する。	⑦各委員会への出席状況及びその活動状況等。 ⑧総会, 理事会への出席状況。
	4 適正で効率的な財産管理と公金の扱いに努める。	⑨予算要求の内容を精査し, 効果的な執行を行う。	⑨新規購入品と現有物品の調査結果。 各棟単位, 各教科単位での備品設置状況。
学 習 活 動	1 基礎・基本の定着を図るため、授業の工夫・改善に努める。 「わかる授業」の展開によって、生徒の自主的・意欲的な学習習慣の定着を促進する。	①生徒による授業アンケートを実施する。 ②教員相互の授業参観を推進することによって, 各教員が自らの授業力の向上を図る。 ③中学校での学習事項を整理して指導する「レディネスプログラム」, きめ細かな指導のための「少人数制授業」を実施する。	①生徒による授業アンケートの結果。 ②授業公開の実施回数, 実施状況。 校内研究授業・研修会の実施回数とその状況。 ③生徒による授業アンケートの結果。
	2 朝自習・補習をととして「知識」「教養」を身につけ, 人間的成長を促す。	④読書や各種検定試験への挑戦をととして, 生徒の自立や達成感の成就を図る。 ⑤学習意欲のある生徒について, 放課後及び長期休業中に補習を実施する。	④学校評価アンケートの結果。 図書の貸し出し状況。 各種検定試験の受験状況。 ⑤就職, 進学状況。
	3 道徳の授業展開を研究する。	⑥道徳教育推進委員会を中心に, 具体的な授業展開を研究する。	⑥道徳教育推進委員会の活動状況。
生徒 指導	1 校内における共感的理解に基づく指導の継続と, 家庭との連携を強化し, 学校不適応生徒に対する指導を充実させる。	①授業, 学校行事及び面談をととして, 生徒との人間関係を築き, 生徒の変化を敏感に感じる感覚を養う。 ②小さなことを見逃さず, 学校組織で対応する。	①教育相談委員会の活動状況。 個人面談, 保護者面談の実施状況。 ②問題行動カードの発行数。 特別指導の件数。

生徒指導	2 遅刻指導により、遅刻者数の減少を図り、基本的生活習慣の確立に努める。	③各学期5回以上の遅刻者に対し、3日連続の早朝登校指導を行うことで、時間を守る習慣を身につけさせる。	③毎日の学校全体の遅刻者数。年間の遅刻率3%以内。
	3 定期的に頭髪・服装等の指導を実施し、規範意識を育てていく。	④学年室を中心に、毎日の頭髪・服装指導を行うとともに、定期的に学校全体の一斉指導を実施する。	④改善指導対象者の数。
	4 地域との連携・協力を推進する。	⑤地域からの意見には原則「即対応」する。	⑤地域からの意見件数及び内容。
キャリア教育	1 計画的、組織的な、キャリア教育及び進路指導の実践により、就職困難期を乗り越えさせる。	①学年進行による計画的なキャリア教育を実施する。 ②生徒及び保護者に対して積極的に進路情報を提供するとともに、保護者対象の進路講演会・ガイダンスを企画する。 ③生徒及び保護者との面談をとおして、個々の生徒の進路希望を把握し、適切に指導していく。 ④求人開拓のために、企業訪問等を組織的に行う。	①各学年による進路説明会・ガイダンス等の実施状況。 ②進路ニュースの活用状況。 ③個人面談、保護者面談の実施状況。 ④高校生就職支援事業の活用状況。企業訪問の実施状況。
	2 3年間の学校生活の集大成として、生徒全体の進路実現を目指す。	④進路意識の高揚のため、大学・専門学校の説明会や会社説明会等への参加を奨励する。 ⑤LHRや総合的な学習の時間を有効に利用し、進路学習を充実させ、進路決定率の向上を図る。	④大学・専門学校の説明会の参加状況。会社見学等への参加状況。 ⑤進路学習の実施状況。進路決定率。
	3 資格取得を奨励する。	⑥漢字検定3級以上の検定挑戦を奨励し、合格のための補習を実施する。	⑥検定合格者の数。個別補習の状況。
特別活動	1 多様な体験活動をとおして、人間関係づくりを実践し、コミュニケーション能力を高める。	①富士山研修、田植え体験、修学旅行、ボランティア活動等をとおしてコミュニケーション能力や他人を思いやる気持ちを身につけさせる。	①生徒の行事参加状況。行事後のアンケートの結果。
	2 校外における美化活動を推進し、ボランティア意識、道徳心を育む。	②学期毎にボランティア清掃を計画し、全学年の生徒が意欲的に取り組めるよう工夫する。	②ボランティア清掃の実施回数。学校周辺のゴミの状況。生徒の参加状況と事後アンケートの結果。
	3 部活動の加入率や定着率の向上を図り、学校生活の充実度を高める。	③50%以上の生徒が部活動に所属し、積極的に活動できるよう、各学年と連携をとりながら指導していく。	③部活動の加入率50%以上。
特色教育活動	1 特別支援教育の推進を図る。	①軽度発達障害のある生徒を把握して、特別支援教育校内支援委員会を中心に、必要が認められる個別生徒への支援を実施する。 ②船橋特別支援学校との交流等により、生徒の意識の進化を図る。	①特別支援教育校内支援委員会の活動状況。 ②交流の状況と交流後の生徒へのアンケートの結果。